

# 東の風



やさしく  
かしこく  
たくましく

No.41

平成29年8月9日(水)

文責：園田

学校教育目標：心豊かに 自ら学び たくましく生きる子どもの育成

## ひとは、夏育つ。

ひまわりが、気づけば人の背をこえているように。  
ひと夏で顔つきが全く変わっている人がいる。  
夏は一年でいちばん人間を成長させる季節かもしれない。



これは7月のはじめ頃に新聞に掲載されていた、ある企業のCMコピーの一部です。

「ひとは、夏 育つ。」・・・とても印象的なコピーでしたし、確かにそうかも・・・と思いメモしていました。

今日は8月9日。登校日。夏休みに入って20日目。ほぼ夏休みが半分過ぎたところです。

いつものように元気に登校してきた子ども達。どんな夏休みを過ごせているのでしょうか。

7月20日発行の40号で「五感で感じる有意義な夏休みを！」とお伝えしていました。

子どもにとってたっぷりと時間がある夏休み。それだけ五感を使って体験、経験することが多くなります。

遠くの場所へと旅行する機会も増えがちです。見知らぬ土地での見聞は、子どもにとって大人以上に新鮮なものに違いありません。また、日中、子どもだけで過ごすことも多くなり、その分、親や大人を頼らず、自分でやらなければならないことも多くあるでしょう。

そうして普段の日常とはちょっと違った様々な経験をして過ごす42日間の長い長い夏休みという時間。その長い休みが明けて登校する9月1日。子ども達の日焼けした顔からは、確かにグッとたくましく、力強くなった表情、ちょっぴり大人びた表情が見て取れることも多いです。やはり「ひとは、夏育つ」ようです。(子どもはその密度が濃い気がしますね。)ただし、不規則でダラダラと怠惰な毎日を過ごしていても、より良い育ち、成長には繋がらないと思います。



さあ、今日で約半分、20日/42日が終わります。なんとなく、中だるみで気持ちも緩みがちになります。

**『危険』は、いつでも、どこにでも潜んでいます。**  
**そして危険は、私たちのちょっとした気の緩みや**  
**心のすきを見つけて、ある日、ある時、突然に襲ってきます。**



ここでぜひ今一度、子ども達と一緒に気持ちを引き締めることが大切です。

それは安全・安心に繋がります。きまりや約束は正しく守れているか。生活リズムを崩さず、規則正しい生活ができているか。危険な遊びはしていないか。夏休みの宿題や課題、自主学習には、毎日取り組み進んでいるか。ぜひ生活を振り返らせましょう。



その際に単に「きまりは守ってるか」と言ったり、聞いたりするだけでは効果はありません。子どもは怒られたくないので「守っている」と言うに決まっているし、どんなきまりがあって、何を、どう守ればいいのか、具体的には分かっていない、理解できていないことも多いのです。(特に低学年)

だからこそ守るべき「きまり」や「約束」は、必ず子どもさんと一緒に一つ一つ、例を挙げながら具体的に確認することが大切です。それが、子どもの命を守る確率を上げることになります。後で後悔しても遅いのです。やるべき時は「今」です。夏休み後半を安全・安心に過ごすために、どうぞよろしくお祈りします。